

(様式 4)

平成 30 年 12 月 11 日

平成 30 年度 第 2 回 大阪市立堀江中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立堀江中学校

校 園 長 名 山本 裕康

日 時	平成 30 年 12 月 4 日 (火) 18 時 30 分～20 時 00 分 (1 時間 30 分)	
場 所	大阪市立堀江中学校 1 階 会議室	
出席者	委員 など	長岡 續 (会長) 桒保 正夫 (委員) 川村美代子 (委員) 丹羽憲一郎 (委員) 末友 良紀 (委員) 八木 新悟 (委員)
	校 園	山本 裕康 (校長) 小西 良一 (副校長) 階戸 祥子 (教頭)
	区役所	大島 一晃 (課長代理)
議 題	(1) 平成 30 年度「運営に関する計画」(進捗状況)について (2) 平成 30 年度「全国学力・学習状況調査」結果について (3) その他	
協 議 要 旨	協議の結果 意見の概要	
	(1)	○「運営に関する計画」の取組内容に対する進捗状況と今後の取組について、概ね理解を得た。 ○創立 60 周年記念式典をはじめ、記念事業はとても良かった。特に、生徒の発表、講演会は評価できる。堀江中学校の生徒たちの頑張りとともに、それを指導する教職員の力が大きかったと思う。 ○「運営に関する計画」の 2 つの柱の達成に向け、学校教育のさらなる充実・深化を期待する。
	(2)	○「全国学力・学習状況調査結果」を基に分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について、概ね理解を得た。 ○昨年度に比べたら学力がかなり低下している。学力といっても点数だけではないと思うが、数字は一番分かりやすい指標となるものなので、今回の結果を真摯に受けとめ指導改善や保護者への啓発を図っていただきたい。 ○特に、生徒質問紙からは、全体的に全国・大阪市よりも低いため、学習面とともに生活面においても充実させていくことに重点をおいて指導をお願いしたい。 ○テストの内容については、単なる記憶した知識を確認するというテストではなく、思考力等を問うテストへとシフトしてきている。新学習指導要領をもとに、学力を含め子どもたちのたくましく生きぬく力をつける学校教育の充実をお願いしたい。
	(3)	○堀江中学校の未来について情報を共有した。 ○西高校への移転までの期間、現在の狭い環境でストレスを感じながら生活しなければならない生徒のことを第 1 に考えていかなければならない。
協 議 資 料	○平成 30 年度「運営に関する計画」(進捗状況) ○平成 30 年度「全国学力・学習状況調査」結果について	
備 考	傍聴者[]名	

